

論点 1：庁舎に求められる機能（案）

1. 庁舎に求められる機能（イメージ）

「市庁舎が抱える課題」に対応するためには、次のような機能が求められます。

（1）安全・安心を確保できる

多くの市民が日常的に利用する市庁舎は、災害発生時には災害対応の拠点としての役割を担うことから、行政機能の維持だけでなく、災害対策本部や復旧・復興の取組みが円滑に行われるよう、耐震性の確保が重要となります。また、庁舎の機能が適切に維持されるよう、建物・設備の適切な維持保全が求められます。

その他、多くの行政情報や個人情報扱うため、適切なセキュリティ機能の確保が求められます。

■具体例

- ・免震装置による耐震性能の確保
- ・非常用電源、防災備蓄等による被災時への備え
- ・災害対策本部機能
- ・入退室管理セキュリティシステム
- ・閉庁日・時間外窓口対応等におけるセキュリティエリアの明確化 等

（2）誰もが利用しやすい

市庁舎は、高齢者、障害者、子ども連れなど、様々な人が利用するため、分かりやすく、利用しやすい配慮が求められます。誰もが利用しやすい庁舎となるよう、バリアフリー化を図るとともに、ユニバーサルデザインへの配慮が求められます。

■具体例

- ・エレベータの適正配置
- ・多目的トイレや授乳室等の適正配置
- ・分かりやすい案内表示
- ・ゆとりがあり安全に利用できる駐車場の確保
- ・文字案内、音声案内、点字案内、多言語対応 等

（3）効率的に市民サービスを提供できる

来庁する市民が目的の場所が分かりやすく、できるだけ最小限の移動で用件を済ませることができるような配置が求められます。

また、窓口利用者や個別の相談時におけるプライバシーの確保にも配慮することが求められます。

さらには、効率的に市民サービスを提供するために、行政需要の増加やOA機器の増加により狭くなったスペースを改善し、効率的・効果的に業務を行うことができる執務環境が求められます。

■具体例

- ・総合案内の設置
- ・窓口機能の集約・ワンフロア化
- ・プライバシーに配慮した窓口や待合スペースの配置
- ・相談スペースの確保
- ・窓口や執務室における適切な明るさ、室温の確保
- ・窓口や執務室における適切なスペースの確保
- ・様々な用途に活用できる会議室等の設置 等

(4) 地球環境にやさしい

他の公共施設の模範となるべき建物として、地球環境に配慮した建物・設備等の工夫が求められます。

省エネルギー化や省資源の推進、自然エネルギーの活用などにより、地球環境にやさしくランニングコストの削減が可能な庁舎であることが求められます。

■具体例

- ・太陽光発電システム等の再生可能エネルギーの活用
- ・制御機能が高く高効率な電気・空調システムの設置
- ・LEDなど省エネ器具の導入
- ・敷地の緑化 等

(5) その他

市庁舎は多くの市民が利用するため、行政サービスの提供だけでなく、市民が集い交流できるよう、市民が利用できる会議室や各種イベントが実施できる広場のなどの公共的な機能が求められます。

■具体例

- ・災害発生時の避難場所としての機能
- ・地域の会議やサークル活動等に利用できる集会機能
- ・イベント等が実施できる広場機能
- ・地域の観光情報や特産品等を提供する情報発信機能
- ・宿泊施設や店舗等、民間のサービス機能 等

2. 市庁舎が抱える課題と求められる機能の対応

		庁舎に求められる機能（案）				
		(1) 安心・安全を確保できる	(2) 誰もが利用しやすい	(3) 効率的に市民サービス	(4) 地球環境にやさしい	その他
庁舎が抱える課題	①耐震性能が低い庁舎が複数あるため、大きな地震が発生した際に、災害対応の拠点となるべき庁舎自体が損傷する恐れがあります。	○				
	②古くなった建物や設備を維持するのに、多くの費用がかかっています。また、省エネ性能の向上も図りにくくなっています。	○			○	
	③目的の部署までの行き方が分かりにくく、移動負担が大きくなっています。		○	○		
	④相談対応時などにおいて、来庁者のプライバシーに配慮したスペースが、十分には確保できていません。			○		
	⑤エレベータが少ないなど、高齢者や障害者等が利用しにくくなっています。		○			
	⑥駐車場の車路や駐車スペースが狭く、停めにくくなっています。		○			
	⑦窓口や相談スペースが狭い、行政文書等を保管する場所が少ないなど、市民サービスを効率的に提供できる環境が、十分には整っていません。			○		

※次回の検討委員会（第3回）では、これら庁舎に求められる機能をふまえ、改修、建替え、一部建替え等の庁舎の整備手法に関する議論を行います。